ガンバレびじねす
商工会は「がんばる」を応援します

ふくしまから はじめよう。
Future From Fukushima.

福島県商工連会報

ニュースクリップ News Clip

商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

contents

P2 ヒストリーインタビュー
P3 年頭挨拶（会長・知事）
P4 青年部・女性部だより
P6 「福島の美味しいもの食のフェア」開催報告
P8 元気印!!ズームアップ
P10 Information 商工会だより
P12 掲示板

非金属製車椅子のメーカーを目指す㈲ミツワエンジニアリングさんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

2014.1.20
Vol.363

FRP製車椅子の製品化「より快適に、さらに機能的に。そして自由に。」
石川郡玉川村　㈲ミツワエンジニアリング

FRP製車椅子の製品化
「より快適に、さらに機能的に。そして自由に。」

当社は平成元年に創業を開始したプラスチック加工業者です。主にFRP（繊維強化プラスチック）加工を手掛けており、自動車のオリジナルエアロパーツの製造・販売、イベント・展示会でのモニュメント製作等、お客様の要望に可能な限りお応えし、品質の高い製品を提供できるよう事業を進めています。

将来への不安と新事業のきっかけ

最近では、若い人の自動車離れが進み、ドレスアップパーツの注文が少なくなってきており、今までの事業の先行きが細くなってきたことに大きな不安を抱いておりました。そこで、取引先から「完全に非金属の車椅子を作れないか?」との相談があったことがきっかけです。

FRPは強度に優れているものの、安全性が十分かどうか不安でしたが、取引先から専門業者を紹介して頂き、いろいろ進めていく中で「これは新たなチャンスだ!」と思うようになりました。

支援制度の活用

そこで、商工会さんにお話ししてみたところ、該当しそうな補助金があることを教えていただき、申請書の作成、ヒアリングへの同行まで支援を受け、無事に採択されて事業展開の自信を持ちました。

その後、県の経営革新計画の存在を知り、事業計画を経営革新計画にまとめる支援を受け承認されました。県のお墨付きを頂いたことで自信が確信に変わりました。

さらに、効率的な生産体制を構築するため、ものづくり中小企業試作開発等支援補助金に申請し・採択されました。今後3Dプリンタ及びモデリングマシンを導入し事業を進める予定です。

危険物検査のしくみ、不便さに着眼

従来の車椅子は金属製のため、金属探知機に反応してしまい、空港での搭乗手続きや医療機関でのMRI利用の際に、その都度乗り換え・介助の必要がありましたが、当社のFRP製車椅子は完全非金属製ですのでそのまま利用できます。

また、車いす利用者から、車いすのデザインを良くしてほしいとの意見もあったため、使っていて気持ちの良い・見た目にこだわった製品に仕上げました。

使う側の利便性追究と試行錯誤

FRPの加工には自信を持っていた当社ですが、車椅子という常用品の作成は経験がなく、また、材質の性質上、座席部分は硬さを感じてしまうため、曲線部分の加工が難しかったです。

試作品を作成してみると「乗り心地が悪い」「タイヤが思うように動かない」「デザインが悪い」など散々な評価で、とても製品化にはほど遠いものでした。

しかし、そこで投げ出さず改良を積み重ね、実際に車いす利用者でなければ感じられない箇所や操作性等、自分の感覚ではなく利用される方がどう思うかに視点を置くようになると、さらに挑戦する意欲が湧き、製品化にこぎつけることができました。

用途に応じたFRP製品を提案

「形のあるものは必ず作る」が当社のモットーです。FRPはどのような大きさ・形にも加工できる素材ですので、展示用・広告用モニュメントなど、ご要望、お困りのことがあればぜひ当社へご連絡ください。

企業概要

企業名　(有)ミツワエンジニアリング
代表者名　三輪　健夫
住　所　〒963-6312
福島県石川郡玉川村小高字三升蒔38-6
事業内容　●オンリーワンの自動車カスタムパーツ
小型車から大型車までお受けいたします。
イベント用の特別装飾も可能です。
●イベント・展示会用モニュメント製作・PR用POP製作
FRP・発泡スチロール・ウレタン・シリコン等、
ご希望の材料でご希望のサイズに加工・製作します

TEL.0247-57-4516　FAX.0247-57-4618
http://www.frpwheelchair.jp/
E-mail:mituwa@fine.ocn.ne.jp

「ふくしまの商工業の再生を目指して」

福島県商工会連合会　会長　**轡田　倉治**

平成二十六年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、我が国経済は、政府が打ち出している各般の経済政策の効果により、先行きに明るい兆しが見え始めてきたものの、四月に迫った消費税率の引上げ、原材料価格の高騰など、中小・小規模企業が抱える不安材料は山積しており、特に、地方の小規模企業にとっては、景気回復の実感を得ているとは言えない状況であります。本県においては、今なお、多くの県民が避難生活を余儀なくされ、風評被害の影響は依然として深刻であり、県内中小企業・小規模事業者のあらゆる産業に多大な影響を与え続け、極めて厳しい状況が続いております。

こうした中、昨年は、被災事業者の事業再生・再建や原子力損害賠償に関わる支援を図るため、会員事業者が抱えている課題を再認識し、真に頼りになる商工会として「ふくしまの商工業の再生を目指して」をスローガンに掲げ、「商工会復興ビジョン基本理念」のもと、地域商工業者の再生・復興と地域コミュニティの再生に取り組んでまいりました。特に風評被害払拭のための事業として、会津若松市、郡山市においては「食のフェア」を開催し、また、広島市、東京駅では「食のキャラバン」を開催するなど、安全・安心の情報発信を強化・PRしてまいりました。

また、今年四月には、県にご協力をいただきながら、東京日本橋にアンテナショップをオープンする予定となっております。

地域と共に歩み、小規模企業を支えているのは我々商工会です。

地域の中核的存在である商工会が、徹底した巡回訪問を通じ、常に新たな提案を行うことで、小規模企業に活力をもたらし、そして、地域を盛り上げていくことが、今まで以上に求められております。

今後も、震災・原発災害からの復興に向けて、広域連携体制の更なる強化を図り、中小・小規模事業者への支援を強化するとともに、県内産業に活力を取り戻すことができるよう、各般の事業を展開してまいる所存であります。

八十九商工会と県連が一丸となって、地域に再び輝きを取り戻す「原動力」となるよう、引き続き、会員皆様方の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。

結びに、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「復興の流れをより確かに」

福島県知事　**佐藤　雄平**

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から三度目の新年を迎えました。

県では、新たな総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、「活力」「安全・安心」「思いやり」の三つの柱の下、一日も早く復興を成し遂げようと、県民の皆さんと一丸となって全力で取り組んでまいりました。

こうした中、本県は着実に元気を取り戻してまいりました。観光地やイベント会場は多くの方でにぎわうようになり、子どもたちの元気な声がたくさん聞こえるようになってきました。

広野町や田村市都路地区の米や伊達地方のあんぽ柿の三年ぶりの出荷再開、相馬地区に続くいわき地区での漁業の試験操業開始、県営復興公営住宅の着工など、復興の動きが目に見えるようになってきております。

さらに、浮体式洋上風力発電の運転開始、福島空港メガソーラーの着工など、本県が目指す再生可能エネルギー先駆けの地のシンボルとなる取り組みも始まっています。

この復興への流れをより大きく、確かなものにしていかなければなりません。

そのため、まず、最大の課題である避難地域の復興に力を注ぎ、帰還に向けた対策と生活再建・安定のための対策を両輪で進めてまいります。

また、今年は、復興公営住宅の入居開始、環境創造センターを始めとする各種拠点施設の着工、産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所の開所など、これまでの取り組みがそれぞれ新たな段階に入ります。

さらに、この春のプレデスティネーションキャンペーンや、六月の日本陸上競技選手権大会を始めとする全国規模の大会、国際会議が今後も数多く開催されます。こうした機会を逃すことなく、本県の魅力と今を国内外にしっかりと発信し、風評払拭につなげてまいりたいと考えております。

「ふくしまから　はじめよう。」の合言葉の下、県民生活の安全・安心の確保、農林水産業の再生、産業の振興、インフラの復旧など、山積する課題を一つ一つ解決し、県民の皆さんに復興の進展をより実感していただけるよう「新生ふくしま」の形をお示ししてまいります。

県民の皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

商工会うまいもんNo.1決定戦の開催

福島県商工会青年部連合会による商工会うまいもんNo.1決定戦が10月5日(土)、10月6日(日)会津アピオスペース駐車場にて開催されました。激闘の末、小野町商工会青年部の「小町アイスバーガー」が、見事優勝を飾りました。

【商工会うまいもんNo.1結果】

優　勝	小野町商工会青年部	**「小町アイスバーガー」**
準優勝	西会津町商工会青年部	**「西会津味噌ラーメン」**
第３位	富岡町商工会青年部	**「豚丼専門店「豚壱」(㈱押田)　特製秘伝のたれ豚丼」**

優良賞に東海林達郎さん(飯野町)
～青年部主張発表東北･北海道ブロック大会の開催～

平成25年10月23日、青森県青森市「ホテル青森」において、第20回東北六県･北海道商工会青年部員交流研修会並びに主張発表東北･北海道ブロック大会が開催されました。

主張発表福島県代表は、東海林達郎さん(飯野町商工会青年部)。応援に駆け付けた多くの県内青年部員も息を飲んで見守る中、東海林さんは優良賞に輝きました。

恒例となっている応援合戦では、高槻秀晃青年部長を中心に会場が一体となりUFOを呼ぶパフォーマンスがされ、力強いエールが送られました。

発表は「青年部活動と地域振興・まちづくり～きっかけはUFO。そして共楽座復活へ。～」と題し、過去の青年部による「UFO」という地元町おこしを超えるべく、地元資源を捜索した上で辿りついた「共楽座」を復活させるため青年部が一丸となって館内の掃除やイベント準備及び運営を行い、共楽座を復活させることに成功したという、東海林さん自身の青年部経験と熱い気持ちを交えながら発表されていました。

～笑顔(えがお)あふれる愛媛の出愛(であい)～
第15回商工会女性部全国大会INえひめ（女性部長研修会）

商工会女性部全国大会が、平成25年10月17日に愛媛県松山市「ひめぎんホール」において約2,500名（福島県参加41名）が参加し盛大に開催されました。

今年の福島県参加者は、全国の皆さんからいただいた義援金の感謝と御礼の気持ちを込めて全員がオレンジ色の“ありがとう福島”Tシャツを着用して大会に臨みました。

地元高校生による書道パフォーマンスで幕が開け、式典では、全国商工会女性部連合会の末武栄子会長が「人口減少や産業衰退で厳しい環境にあるが、女性部が魅力ある事業を行い、地域や商工会を盛り上げよう」と挨拶をしました。

セレモニーの終盤には、今年も義援金をいただいた事に伴い、福島県商工会女性部連合会　服部淳子会長より感謝の気持ちと共に県民の一部が今もまだ避難中であることや風評被害に対する福島の現状について報告させていただきました。

主張発表大会においては、テーマ「女性部活動に参加して」～商売に活かす活動を目指して～と題して発表された富山県（中部ブロック代表）の発表者（上市町商工会女性部　平井淳子）が最優秀賞となりました。女性部による特産品開発事業のなかで、商品管理の仕事等を任されたことで経理の知識が身に付きまた、事業展開するなかで今までめぐり会うことのなかった異業種の方々とのネットワークができ、自分の商売にも活かし活用しているといった内容でした。その他には、部員の高齢化や部員減少に歯止めをかけるために、若い女性対象に女性部の魅力を知ってもらうために“女子会”を開催し部員増強に努めているといった、各部でも事業の参考になるものでした。

また、基調講演では、精神科医（豊岡台病院院長）であり、日本笑い学会四国支部代表の枝廣篤昌氏による講演が行われました。自らの研究を基に楽しく笑うことは自律神経の調整や免疫力を高めるなどの効果があると紹介し、「笑顔のチカラ」と題して「たくさん笑って脳を活用して下さい」「笑いを活かして人づくりをして下さい」といった講演でした。

FOODFAIR 福島の美味しいもの食のフェア(会津)

AIZU 2013 10/5(Sat)-6(Sun)

10月5・6日の2日間、会津若松市「アピオスペース」を会場に、40企業が出展し、約14,500人の来場者を迎えました。青年部による「商工会うまいもんNo.1決定戦」「来ら丼福島大会」も同時開催。大勢のお客さまでにぎわいました。

いもの食のフェア」
報告

安全を広める食のフェア、昨年のい
と郡山の2会場で開催しました。県
は美味しいものばかりと好評でした。
ブランド化を通して県産品の本物
継続的に実施していきます。

でいちばん安全に
ているのは、
食品です。

BRAND
mber of Commerce and Industry Recommends

料理愛好家の平野レミさんは、ご自身の体験をもとに県産品の美味しさと安心をPRしていただきました。

定戦」は

「来ら丼」大会優勝は、龍ヶ崎ホルモン丼と天栄村卵米丼に決定。

料理研究家　森崎友紀さんによるトーク&クッキングも行われました。森崎流おいしさの秘訣などをたのしくお話しいただきました。

「福島の美味しい
開催

県産加工食品の美味しさと安心安
わき市に続いて今年は会津若松
内各地から集まった自慢の逸品は
風評被害払拭と市場獲得に向け、
の価値を消費者に届ける取組を紹

福島
美味

今、日本で
気を使って
福島産の食

FOOD
Delicious Brand Fukushima Char

会津会場に引き続き、武藤定子さんによる「らいぶdeキッチン」では、会場内の商品を使った料理とデザートを実際に料理していただきました。毎回思いますが、メチャクチャうまい!

11月15・16日には、郡山総合体育館にて開催いたしました。
同時に「こおりやま全市元気応援　産業フェア2013 ～夢商い～」も開催され、約160の事業所が出展しました。

「商工会うまいもんNo.1決定
小町アイスバーガー

FOOD FAIR 福島の美味しいもの食のフェア(郡山)
KORIYAMA 2013 11/15(Fri)-16(Sat)

経営支援レポート

元気印 ズームアップ。

県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介いたします。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までE-メールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

本宮市商工会

「糀文化を生かした製品づくり・販路開拓」

(有)糀和田屋
代表取締役　三瓶　正人氏

〒969-1134 本宮市本宮字上町22
TEL 0243-34-2140／FAX 0243-34-2145
営業時間　午前9時～午後7時
定 休 日　日曜日
http://www.koujiwadaya.co.jp

■事業所紹介

当社は、明和年間創業以来240年以上に渡り、地元農家との関りの中で、米と糀の交換、米を糀に加工したり、更には米・大豆・小麦などを預かり、味噌・醤油・糀漬の素などに加工して納めてきました。この長い歴史の中で、平成20年1月には「糀和田屋の味噌」が福島県ブランド産品に認定されています。平成22年4月には父親から社長を継承し、その後発生した原発事故による風評被害などにより、原材料である福島県産米など穀物への安全不安などの打撃を受けましたが、今年度は、ふくしま・地域産業6次化復興支援事業での新商品の開発や本宮市との友好関係がある首都圏方面の市区町村での販売会、県連合会の地域資源魅力向上支援事業（食フェア）への参加、及びスーパーマーケット・トレードショーへの出展予定など、販路開拓などにも積極的に取り組んでいます。糀は昔から日本の食文化には欠かせない発酵商品の要です。当社では、味噌・醤油・甘酒・塩糀・三五八漬の素・フリーズドライみそ汁・糀ドレッシングなど糀商品を取り揃えています。是非ご賞味ください。

■パートナーとしての商工会

「福島の美味しい米と大豆を使っています」これが安心・安全の証でありこだわりでした。それが原発事故により使用が困難となり、苛立ちと共に生産者の方々に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。そんな中、商工会さんのご尽力により、「商品の魅力を発信・向上される支援事業」や「ふくしま・地域産業6次化復興支援事業」などの支援を受けることができました。今後も商工会の方々のご協力を戴きながら、福島の糀屋として糀製品を通して地元の復興・発展に役立てるように奮闘していきたいと思います。

県中・県南

古殿町商工会

「こだわり天然醸造みそをお届けします」

マルマン醸造株式会社
代表取締役　常盤　健一氏

〒963-8305
福島県石川郡古殿町大字竹貫字竹貫57
TEL 0247-53-2121
FAX 0247-53-2187

■こだわりの天然醸造みそ

当社は、味噌・醤油の醸造会社として昭和24年に創業致しました。

当社の天然醸造みそは、国産大豆・国産米を使用し、“糀の力”のみによって10ケ月～1年、自然の気温に任せて発酵・熟成させています。途中天地返しを行い、日本古来の製法で作る天然醸造みそです。長期熟成による天然醸造みそは有効微生物が作り出す発酵食品であり、食べる方には健康維持と免疫力を高める効果があります。

■フードフェア出展

古殿町商工会からフードフェアの情報をいただいたのは今年の初夏でした。

当社は食のイベントやデパートの催事等は全くの未経験で、私自身何をやったらいいのか分からぬ状態でした。

しかし、藤田指導員を始め、商工会の皆様のご協力により、事前の販促物の作成から、当日の展示ブースの作り方等、勉強になる事をたくさん教えていただきました。

私も後継者としてこの仕事に就いて2年半。まだまだ分からない事だらけではございますが、一番身近なコンサルタントでもある商工会の方々と協力しながら、会社をより良い方向に進めて行きたいです。

会津

三島町商工会

「地域と共に生きる」

佐久間建設工業株式会社
代表取締役　佐久間源一郎氏

〒969-7406
福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平687
TEL 0241-52-3111／FAX 0241-52-3320
http://www.sakuma-kk.com/index.html
E-mail:sakuma@sakuma-k.co.jp

■古民家再生プロジェクト（布施経営指導員談）

創業93年を数え、総合建設業者として数々の工事実績を持つ当社が、平成21年に森林事業部を立ち上げたのは、かねてから「山を守ることは、この地域を守ることに等しい」との社長の強い思いがあったからです。古来三島町は林業によって栄えてきました。しかし、過疎高齢化による職人の減少や輸入材の普及等により、森林の手入れが疎かになると、山は痩せ、土砂崩れ等の危険を招きます。当社は、環境保全を図り「山力」を最大限に引き出し、森林資源を有効に活用しております。

その取り組みのなかで最も注目すべきなのが、「古民家再生プロジェクト」です。当町の家屋全体の13.5%もある空家を有効活用するため、当社の森林、建築事業部が連携し、築130年以上の空家を改修しモデルハウス「清匠庵」を建築しました。会津の豪雪に耐えてきた部材をそのままに、最新技術で生まれ変わった古民家は、時代を超えた輝きと存在感を放ちます。また、ネットワーク環境が完備されたオフィス機能をもち、東京からITベンチャーの誘致にも成功しました。地域の資源を最大限に活用し、地域を守り、地域と共に生きる企業です。

■最も身近な相談相手（佐久間社長談）

商工会は、会員同士の連携が図れることはもちろん、中小・小規模企業にとって最も身近な相談相手であり、地域になくてはならない存在です。昨年、木材乾燥機導入に際し国の補助金を申請しましたが、事業計画の立案段階から本格的な支援を受け、無事に採択を受けることができました。今後は、過疎中山間地域の実情に即した新たな活性化支援に期待します。

浜通り

新地町商工会

「同じ境遇のお客様に励まされ」

角　屋（かどや）
店主　佐藤　武氏

〒979-2702
相馬郡新地町谷地小屋字萩崎74-1
TEL・FAX　0244-62-2041
営業時間　午前8時30分～午後6時
定　休　日　不定期

■ゼロからのスタート

角屋さんは、釣師浜海水浴場入口の住宅街でインテリア・衣料品店を営まれておりましたが、高さ10mを超える大津波で店舗と住宅が全壊流出しました。震災から約2ヵ月間は避難所で生活し、その後仮設住宅に入居されました。慣れない仮設住宅での生活に不便を感じる馴染みのお客様が「あれが欲しい」「これが欲しい」と切実な声を寄せたことから、仮設住宅の管理者に特別の許可を得て、在庫をストックするスペースがほとんど無い、狭い住宅内でゼロからの営業をスタートされました。その後、行政の支援により仮設店舗が完成し、必要な設備を整え震災から7ヵ月後に本格的な再オープンとなりました。

新地町は、平成25年度中に集団移転造成工事が完了し本格的な住宅建設が始まることから、角屋さんにはインテリアオーダーが相次いで忙しい日々が続いています。

震災後も地元のお客様から頼りにされ、励まされたことが営業再開の強い原動力になったと感謝の言葉を述べられています。

■今後も商工会からの支援を頼りに前進

東日本大震災により、家屋、店舗がすべて流失しました。これからどうしようと悩みの日々でした。そんな時、商工会から営業再開できる方法があると聞き、すぐ手続きを取っていただき、現在の仮設店舗での営業を再開しました。

お客様からもお店ができて本当に助かっているとの声をたびたび聞き、うれしく感謝しております。震災後商工会青年部が始めた復興イベントや花火大会は「頑張るぞー」と元気がでました。

希望ですが、自分の新店舗が早くできて、少しでも町づくりに協力したいと思っております。これからも支援を頂きながら、前進したいと思います。

Information
商工会だより

活力あるまちづくり、元気アップいきいき作戦

国見町商工会

国見町商工会長の岡崎長市です。

国見町は福島県中通りの最北端に位置し、北は宮城県白石市と接する町で人口は約一万人です。コシヒカリと桃の生産が盛んで、農業を主産業とした町です。県都福島市までJRで十七分、東北自動車道国見ICを有し、さらに四号国道が縦断し、古くから奥州街道の要衝と交通の便にも恵まれた町であります。また、国指定史跡である阿津賀志山防塁など多くの史跡が点在し、豊かな自然と義経ゆかりの町としても知られています。

当商工会では、真に必要とされる商店街の再構築を目標に掲げ、会員と地域住民の皆様との意思の統一を図り、安心・安全で魅力ある商店街を創造するため、特産品の開発支援事業や地域の定期的なイベントを開催し、風評被害の払拭と交流人口拡大のため、様々な地域振興事業に取り組んでいます。

国見バーガーの誕生！

山沿いにある国見町は、一見海の幸をいただくことは難しいように思えますが、東北本線と女性行商人が宮城の海の幸を運び、普通に魚が食べられていました。とはいえ、生ものは鮮度が落ちてしまいます。できるだけ日持ちのする工夫がされる中、各家庭には、それぞれの加工法があり味噌煮はポピュラーなもので、多くの人に広まっていったのです。今では、サバの味噌煮は町内の佐久間商店のものが有名であり、全国から注文が入る超人気商品になっています。

このサバの味噌煮を使って、今までにないご当地グルメを作ろうと国見町商工会青年部有志を中心とする商店街のメンバーが集まりました。

パンと味噌は意外に相性がいい、フィッシュ・バーガーは結構評判がいい、サバの味噌煮をハンバーガーにしてはどうか…と、奇抜で、みんなが楽しくなってしまうようなアイデアが、「国見バーガー」を誕生させました。

初めて、皆さんに紹介されたのは、二〇一二年三月、福島震災復興に向けての地元のイベント「国見おもしろ再発見！」のときです。それ以来、地元国見町では大評判！ファンがどんどん増えています。おかげさまで、各地のイベントでも長蛇の列ができるほどの人気になりました。来春からは、仙台の楽天球場でも販売される予定です。「百聞は一食に如かず」。

美味しい、珍しい、やみつきになる、「国見バーガー」を、ぜひ、国見町にお出かけいただき、ご賞味ください。

国見まるごと再発見！

昨年まで「国見に住む子どもたちに夢を！」のコンセプトで開催されていた国見町の夏祭り「国見夢まつり」が、今年は「国見まるごと再発見！」として生まれ変わりました。

その夏まつりの一環として実施した「商店街七夕プロジェクト」では、商店街に昔の活気を取り戻すべく、昭和三十五年の写真をヒントに商店街に七夕飾りを設置しました。

Information
商工会だより

地域密着型の商工会として今までもこれからも

遠野町商工会

遠野町商工会長の塩屋昌則です。

遠野町は阿武隈山系の入口にある中山間地域にあり、いわき市の南西部に位置する人口減少が続く五千八百人の小さな町です。

人口と同様に商工業者の減少にも歯止めがかからず、平成六年に最大二百四十一を擁した会員数も現在百七十九にまで減少しておりますが、東日本大震災で経営環境が激変した小規模事業者等の支援に役職員一同邁進しています。

商工会の日々の事業者支援の要となるのが商工会事務所なのですが、長年行政より賃借していた商工会館の老朽化が激しく、平成十五年度から代替施設を模索しておりました。新たに建築するには資金的問題、賃借するにしても有用な空物件不在となかなか進展しませんでしたが、町の中心部の近くに、地区内社会福祉法人と建物合築を行い平成二十四年五月よりその一室に入居して活動をしております。商工会事務所としての占有スペースは十四坪ですが、他に大小会議室も完備されており、事業者支援を行うには有意義な環境下にあります。

遠野町で行われている地域おこしを紹介いたしますので、是非お立ち寄り下さい。なお、全てが商工会も所属する「遠野町地域づくり振興協議会」が主体となる実行委員会形式で行われております。

http://www.iwaki-tohno.jp/

遠野歳時記「満月祭」

平成十七年より中秋の満月頃の土曜の夜に実施しております。遠野町にはお月見様の日に各家庭に供えられたお月見団子を子供たちが徒党を組み掠め取っていく「お月見どろぼう」という風習が残っています。昔は、それこそ家人にばれぬようそーっと忍び込み、突つき棒で縁側に供えてある団子を突き射したそうですが、今は玄関から行儀よく子供達が「今晩は、お月見どろぼうに来ました」と言って家人から団子ではなく袋菓子を貰っていきます。これは各家庭からもらうのが団子だと、それを入れるレジ袋の中でぐちゃぐちゃになるのを嫌った為です。「満月祭」は、かつては皆さんの周りにあったこのような風習と、田舎の風景を連想させるようなイベントになっています。当初は遠野町の奥に位置する入遠野地区で行っておりましたが、平成二十三年からは県立遠野高等学校グラウンドとその周辺で行っております。満月と千五百個の行灯による淡い明りの中、日本の第一人者による篠笛のコンサート、郷土芸能のじゃんがら念仏踊り、月夜茶会等があります。わずか一日限り三時間の開催ですが、秋の夜の風物詩として市内で定着し年々来場者も増えています。

遠野町じゃんがら念仏盆踊り大会

八月十五日の夜に行われ、今年で五十一回目を数えることになりました。

いわき市とその近郊では、じゃんがら念仏踊りが三百年以上前から郷土芸能として引継がれて、八月十三日から十五日にかけてその一年で亡くなった方がいる新盆のお宅を廻り供養します。じゃんがら念仏踊り自体は、諸説ありますが初めは高名なお坊さんが人々に仏教を広めようと、念仏を歌と踊りに代えて教えようとしたのが始まりとも言われております。現在市内で活動する団体は約九十ありますが、代々、口伝で伝えられてきたため同じものは一つとしてなく、複数が同時に行うことは他地区ではあり得ませんが、このイベントのクライマックスには遠野町で活動する七つの団体が盆踊り櫓の周りに配置し、打ち上げ花火が舞うなか、一斉にそれぞれの地区の踊りを披露します。隣の団体の鐘と太鼓の音に打ち負けるかと、勇壮にそして厳かに舞う様は、観客を魅了し、それぞれが贔屓にする団体の周りを取り囲み、遠野の夏の最後の風物詩を楽しみます。

遠野もみじまつりin龍神峡

十一月の最終日曜日に東北最後のもみじと言われる鮫川渓谷龍神峡の紅葉を散策して楽しめます。龍神峡には「西行戻し」の言い伝えや、黄門様こと水戸光圀公が訪れたと思われる古文書が残るなど歴史的な名所であり、紅葉と奇岩、清流が織り成す絶景は見事の一言につきます。

イベントには、地元学生の演奏会、地元特産物直売が行われます。また、龍神峡で詠んだ短歌や俳句、川柳の作品募集が行われ、最優秀作品は一年間龍神峡の掲示版に掲示されます。

なお、紅葉は十二月の上旬まで楽しめます。

News Clip ニュースクリップ
Vol.363
平成二十六年一月二十日

福島県専門家活用経営支援事業をご活用ください

中小企業者等の課題解決のために専門家を派遣します。こんなときに是非ご相談ください。

●経営改善 ●新事業分野進出 ●経営計画策定 ●効果的なホームページやチラシの作成・改善 ●税務・会計
●事業承継 ●許認可 など

●例えば製造業・建設業なら… ●品質管理・生産管理 ●生産工程の改善 ●作業改善・生産効率向上 ●労務改善・就業規則作成
●現場改善小集団活動導入 ●ISOマネジメント導入 ●販路開拓
●デザイン（製品・企業ロゴ） ●知的財産権 など

●小売業・サービス業なら… ●経営計画 ●店舗改装 ●店舗レイアウト改善
●販売促進策（チラシ・ショップカード・売出企画） ●POP技術 ●ラッピング技術
●デザイン（商品パッケージ・包装紙・看板） ●顧客管理 ●接客技術 ●新商品開発 など

①費用

費用については、専門家の派遣に係る謝金の5分の1（1回6,000円）が自己負担となります。また、支援の際に必要となる材料等は、支援を受ける企業の自己負担となります。

なお、避難区域に事業所を持ち、移転を余儀なくされ県内で事業を再開、または再開後に事業継続のため支援を必要とする場合は無料となります。

②対象は創業予定者および中小企業者等です

創業予定者および中小企業者等が抱える様々な経営課題に対応いたします。

③専門家が直接お伺いしてアドバイス・支援にあたります

現場の状況を把握し、的確なアドバイスをいたします。

④一流の専門家を登録しています

専門家は各分野で長い経験と実績を持ち、的確に中小企業者等のニーズに対応できる人材ばかりです。

▶制度についてのお問い合わせ、お申し込みは、お近くの商工会へ

ミラサポ 未来の企業★応援サイト

中小企業庁は、中小企業・小規模事業者の未来をサポートするサイト「ミラサポ」を開設しました。

■ 国や公的機関の支援情報・支援施策を、わかりやすく提供します。
■ 経営の悩みに対する先輩経営者や専門家との情報交換の場を提供します。

ミラサポ 検索

詳しくは、お近くの商工会までお問い合わせください

商工会の福祉共済 トータル「がん」補償

お問い合わせは、ご加入の商工会へ

発行／福島県商工会連合会　発行責任／阿久津文作
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま9F）
TEL 024(525)3411 FAX 024(525)3413
Mail f-wing@do-fukushima.or.jp URL http://www.f.do-fukushima.or.jp/

VEGETABLE OIL INK
News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。